

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(

京都市立待賢幼稚園

)

1 平成26年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成(他者との協同の中で、主体性を発揮する子どもの育成)
2. 豊かな心の育成(豊かな体験活動の実践)
3. 健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立、進んで体を動かして遊ぶとする子どもの育成)

2 1回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理						評価日	平成26年9月17日	評価日	平成26年9月17日
						評価者・組織	幼稚園評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校評議員による改善 に向けた支援策
1	確かな学力	主体的に遊び込む子どもの育成	一人一人の発達に応じた指導の充実・園内研修での子どもの記録の検討・国立教育政策研究所教育課程研究指定校・豊かな学びリーディングスクール指定校として研究を進めている。	一人一人の発達に応じた経験ができるようにしている。幼稚園に行くのを楽しみにしている。毎日もあてをもって登園して自分の力を十分に発揮していると思う。	⇒	主体的に遊び込む子どもの育成やコミュニケーション力の育成については高い評価を得た。絵本を読むことについて力を入れてきたが、関心の度合いの格差が生きている。園では聞く態度、言葉遣いについて指導することも多い。園内研修の中で、個々の主体性について分析する方向性が見いだされた。	年度後半に入り、更に子どもたちが主体性を発揮して遊ぶことができるように、教師の子どもとの読み取りや計画性について深めていく。絵本を読む楽しさについて幼稚園で意識して取り組むとともに親子で楽しめる方策を考え実施する。話したくなる聞きたくする信頼関係を更に結び、気持ちの良い聞く態度や言葉遣いについて根気よく伝えていく。	⇒	アンケート結果や保護者の意見より、園の取組が子どもの主体性を育むことに成果を上げていると考える。絵本への関心については子どもの情緒の安定や良好な親子関係をつくることに関係してくるので今後も引き続き取り組んでほしい。
	コミュニケーション力の育成	コミュニケーション力の育成	挨拶の意識向上 聞きたくする話したくなる信頼関係の構築	「言葉で伝えたい思いの育ち」は94%「話を聞く態度」は80%「挨拶や返事」は72%あてはまると回答	⇒	今年度、国立教育政策研究所の教育課程研究指定校や豊かな学びリーディングスクールの指定を受け、園内研修を重ねる中で、細かな子どもの読み取りとそこから指導の在り方を見直していくことで、子ども育の内面の育ち等が明らかになった。特に保護者にも子どもの育ちに応じた環境づくりについて高い評価を受けた。	子どもの細かな記録から育ちを読み取る研究を引き続き行いながら、地域や他団体との交流も深める。街中ではあるが、園内に今後も自然を意識して更に取り組み、豊かな感性が育まれるように努める。	⇒	研究に積極的に取り組み、子どもの育ちを卒園児に至るまで視野に入れて保育を行っていることを評価する。幼稚園の在籍の子どもだけでなく地域の子どもたち(親子)の豊かな育ちについても考えていってほしい。
2	豊かな心	豊かな体験活動	園内・外での自然体験 小動物とのふれあい 地域や他団体との交流	子どもの姿の姿容 子どもがいきいきと園生活ができるように環境づくりをしていたか。	⇒	「園の環境づくり」については100%あてはまると回答	「園の環境づくり」については100%あてはまると回答	⇒	研究に積極的に取り組み、子どもの育ちを卒園児に至るまで視野に入れて保育を行っていることを評価する。幼稚園の在籍の子どもだけでなく地域の子どもたち(親子)の豊かな育ちについても考えていってほしい。
	規範意識の育成	規範意識の育成	遊びや生活の中での具体的な事柄からの指導 全教職員による素地指導	園内研修での細かい子どもの記録の分析・回数 素地指導の回数	⇒	今年度、国立教育政策研究所の教育課程研究指定校や豊かな学びリーディングスクールの指定を受け、園内研修を重ねる中で、細かな子どもの読み取りとそこから指導の在り方を見直していくことで、子ども育の内面の育ち等が明らかになった。特に保護者にも子どもの育ちに応じた環境づくりについて高い評価を受けた。	子どもの細かな記録から育ちを読み取る研究を引き続き行いながら、地域や他団体との交流も深める。街中ではあるが、園内に今後も自然を意識して更に取り組み、豊かな感性が育まれるように努める。	⇒	研究に積極的に取り組み、子どもの育ちを卒園児に至るまで視野に入れて保育を行っていることを評価する。幼稚園の在籍の子どもだけでなく地域の子どもたち(親子)の豊かな育ちについても考えていってほしい。
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立	一人一人に応じた丁寧な指導	「早寝・早起き・朝ごはん」は実行できましたか。基本的生活習慣がついていると思いますか。	⇒	「早寝・早起き・朝ごはん」は92%「基本的生活習慣の確立」は94%と回答	「早寝・早起き・朝ごはん」は92%「基本的生活習慣の確立」は94%と回答	⇒	遠足の引率など、子どもが体を鍛える機会をサポートしていきたい。
	進んで体を動かして遊ぶとする子どもの育成	進んで体を動かして遊ぶとする子どもの育成	広い元待賢小学校校庭の活用・園外保育の充実・環境整備・計画的な保育	体力がついてきていると思いますか。友達と元気に遊んでいると思いますか。	⇒	「体力」は100%ついてきていると回答「元気に遊んでいる」は94%と回答	「体力」は100%ついてきていると回答「元気に遊んでいる」は94%と回答	⇒	遠足の引率など、子どもが体を鍛える機会をサポートしていきたい。
4	独自の取組	地域に開かれた子育て支援推進	毎日の園庭開放・教育相談 未就園児親子の遊びの日の開設 子育て支援センター等との連携	参加者数、参加者感想	⇒	未就園児遊びの日の参加者4月～9月のべ602名(去年度の約1.4倍)	未就園児遊びの日の参加者4月～9月のべ602名(去年度の約1.4倍)	⇒	就労している家庭でも待賢幼稚園を選ぶことができる時間帯の預かり保育について考えていきたい。
	情報発信の充実	情報発信の充実	HPの積極的な更新 地域への情報紙の発行 保護者への保育の説明	HPアクセス数 地域からの意見 保護者アンケート結果	⇒	前期HPアクセス数9,714(去年度前期の約1.25倍) 保護者「園での子どもの様子がわかりやすい」94%回答	前期HPアクセス数9,714(去年度前期の約1.25倍) 保護者「園での子どもの様子がわかりやすい」94%回答	⇒	就労している家庭でも待賢幼稚園を選ぶことができる時間帯の預かり保育について考えていきたい。
	預かり保育の充実	預かり保育の充実	毎日保育終了後2時間の預かり保育の実施 保護者・地域の方の人材活用	預かり保育参加者数・アンケート「預かり保育は安心安全な遊びの場や保護者の子育て支援になっているか」	⇒	前期参加延べ人数1,213名(去年度前期の約1.3倍)アンケート100%あてはまると回答	前期参加延べ人数1,213名(去年度前期の約1.3倍)アンケート100%あてはまると回答	⇒	就労している家庭でも待賢幼稚園を選ぶことができる時間帯の預かり保育について考えていきたい。